

令和7年度

事業報告書

学校法人 西大和学園

I 法人の概要

1. 基本情報

学校法人西大和学園

奈良県北葛城郡河合町大字薬井295

TEL 0745-73-6565

FAX 0745-73-8187

E-mail:honbu@t.nishiyamato.ed.jp

2. 建学の精神

私学の独自性と教育機関としての公共性に基づき、学生・生徒本位の教育を実践する。学生・生徒の人間としての真の成長を願い、学園の持てる力を結集し情熱をもって指導する。人間性豊かな有為な人材を育成することにより、広く社会に貢献する。

3. 学校法人の沿革

昭和60年12月 学校法人西大和学園設立認可

昭和61年4月 西大和学園高等学校開校

昭和63年4月 西大和学園中学校開校

平成5年4月 西大和学園カリフォルニア校開校

平成8年3月 西大和学園カリフォルニア校

文部科学省より在外教育施設として認可

平成10年4月 白鳳女子短期大学開学（国際人間学科）

平成16年4月 白鳳女子短期大学国際人間学科を総合人間学科に名称変更

平成19年4月 白鳳女子短期大学に専攻科設置

平成26年4月 大和大学開学（教育学部・保健医療学部）

平成27年4月 白鳳女子短期大学を白鳳短期大学に名称変更

平成28年4月 大和大学政治経済学部開設

令和2年4月 大和大学理工学部開設

令和3年4月 大和大学社会学部開設

令和4年4月 大和大学政治経済学部政治行政学科を政治・政策学科に名称変更

令和5年4月 大和大学情報学部開設

白鳳短期大学を大和大学白鳳短期大学部に名称変更

令和6年4月 大和大学政治経済学部グローバル・ビジネス学科開設

4. 設置する学校

①大和大学（平成26年4月開学）

〒564-0082大阪府吹田市片山町2丁目5番1号

教育学部教育学科

保健医療学部看護学科
総合リハビリテーション学科
政治経済学部政治・政策学科
経済経営学科
グローバル・ビジネス学科
理工学部理工学科
社会学部社会学科
情報学部情報学科

②大和大学白鳳短期大学部（平成10年4月開学）

〒636-0011奈良県北葛城郡王寺町葛下1丁目7番17号

総合人間学科 こども教育専攻
看護学専攻（3年制課程）
リハビリテーション学専攻（3年制課程）
専攻科 地域看護学専攻
助産学専攻
リハビリテーション学専攻

③西大和学園高等学校（昭和61年4月開校）

〒636-0082奈良県北葛城郡河合町薬井295番地

④西大和学園中学校（昭和63年4月開校）

〒636-0082奈良県北葛城郡河合町薬井295番地

5. 設置する学校の入学定員・収容定員（令和7年5月1日現在）

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
大和大学	教育学部	190	185	770	824
	保健医療学部	220	252	890	960
	政治経済学部	260	288	820	869
	理工学部	295	239	985	998
	社会学部	200	189	800	848
	情報学部	250	186	650	614
大和大学	総合人間学科	270	269	710	659
白鳳短期大学部	専攻科	120	113	120	113
西大和学園高等学校		360	329	1,080	1,057
西大和学園中学校		220	236	660	699

※大和大学情報学部 令和5年4月開設

※大和大学経済学部 グローバル・ビジネス学科（入学定員80）令和6年4月開設

6. 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
大和大学	1.08	1.09	1.09	1.08	1.04
大和大学白鳳短期大学部	1.01	1.07	1.05	0.92	0.93
西大和学園高等学校	1.00	1.00	1.01	1.02	0.98
西大和学園中学校	1.09	1.08	1.07	1.05	1.06

5. 役員

定数 理事8人 監事2人

区分	氏名	常勤・非常勤	就任年月日
理事長	田野瀬 太樹	常勤	令和6年4月1日（重任）
理事	松本 伸司	常勤	令和7年4月1日
理事	岡田 清弘	常勤	平成7年4月1日
理事	平林 春行	常勤	令和7年3月15日
理事	田野瀬 良太郎	常勤	令和7年4月1日（重任）
理事	上村 佳永	常勤	令和7年4月1日
理事	新子 昌弘	非常勤	令和6年8月6日
理事	卜部 能尚	非常勤	令和6年4月1日（重任）
監事	西川 義春	非常勤	令和6年4月1日（重任）
監事	藤岡 繁壽	非常勤	令和6年4月1日（重任）

6. 評議員

定数 9人

区分	氏名	就任年月日
評議員	水野 雅仁	令和6年4月1日（重任）
評議員	東 孝信	令和6年4月1日（重任）
評議員	新子 孝夫	令和7年3月15日
評議員	奥野 太嗣	令和7年3月15日
評議員	廣葉 貴寛	令和7年3月15日
評議員	勝村 能貴	令和7年3月15日
評議員	谷 鉄也	令和7年3月15日
評議員	三谷 進治	令和7年3月15日
評議員	中山 智子	令和6年4月1日（重任）

7. 会計監査人

定数 1人

氏名	就任年月日
日潟 一郎	令和7年6月24日

8. 理事選任機関

学校法人西大和学園寄附行為

第6条第1項 この法人の理事選任機関は、理事会とする。

第6条第2項 理事選任機関の構成員は、全ての理事とする。

9. 教職員

	専任教員数	専任職員数
法人本部	0	4
大和大学	187	28
大和大学白鳳短期大学部	44	9
西大和学園中学校高等学校	105	14
合計	336	55

II 事業の概要

1. 教育・研究の概要

大和大学

・卒業の認定に関する方針

[教育学部]

1. 教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。
2. 豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。
3. 偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。
4. 幼稚園教員にあっては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあっては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。
5. 中学校及び高等学校教員にあってはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。

4. 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。

〈総合リハビリテーション学科〉

1. 保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。
2. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
3. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
4. チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。
5. 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。

[政治経済学部]

〈政治・政策学科〉

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と政治学、政策学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

〈経済経営学科〉

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

〈グローバルビジネス学科〉

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力とグローバル経営学、国際ビジネススキル、ビジネスデータ分析のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。

3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

[理工学部]

1. 技術者、研究者として新たな価値の創造や社会の発展に貢献するため、専門領域に偏らない幅広い教養と視野を身に付けること。
2. 「理学」「工学」を俯瞰的に見つめるため、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力を身に付けること。
3. 専門的な知識、技術、能力を有するだけでなく、技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身に付けること。
4. 「理学」「工学」全般の知識、技術、能力を活かし、幅広い視野で他者と協調して課題の解決にあたり、社会の発展に貢献する意欲を身に付けること。

[社会学部]

1. 社会学および関連分野に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会学的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 社会学に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

[情報学部]

1. 情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけている。
2. 情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野を身につけている。
3. 多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる。
5. 情報社会と情報技術に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有している。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる。

・教育課程の編成及び実施に関する方針

[教育学部]

1. 教育の専門職にふさわしい基礎的な教養を身に付ける科目を置き、また、外国語について学ぶ科目を置く。
2. 教育の専門職として必要な知識及び技能を養成するための基礎となる教職の意義、教育の原理・制度・歴史、子どもの成長や発達についての学問的理解、教科の基礎を学ぶ科目を置く。

3. 教職や教科の基礎となる科目を深化・発展させるべく、教科内容についての幅広く深い理解、子どもの発達段階に応じた適切な助言・指導を行える実践力、指導法についての専門的知識及び技能、そして情熱を持って授業を実践し先導する力を養成する科目を置く。
4. 生徒指導及び進路指導や学級経営を適切に行うために必要な豊かな人間性や社会性を身に付ける科目を置く。
5. 初等教育から中等教育への接続の意義・重要性に鑑み、主たる免許資格以外の教育内容を学修することにより複数免許の取得ができるように教育課程を編成する。
6. 特別支援教育の意義重要性に鑑み、その基礎となる科目についてはすべての専攻において必修科目として置く。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

1. 豊かな人間性を涵養し看護実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1 年次より専門基礎科目を配置する。
2. 各領域の専門科目は 4 年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. 3 年次から希望者は看護師養成課程に加えて保健師養成課程または助産師養成課程を選択できる。
5. カリキュラム全体を通して、高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

〈総合リハビリテーション学科〉

1. 豊かな人間性を涵養しリハビリテーション実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1 年次より専門基礎科目を配置する。
2. 各分野の専門科目は 4 年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. カリキュラム全体を通して、セラピストの役割を理解し高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

[政治経済学部]

〈政治・政策学科〉

1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く

履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。

2. 政治学・政策学の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3 年次・4 年次においては学生 個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。
3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を 4 年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。
4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。

〈経済経営学科〉

1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。
2. 経済学・経営学の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3 年次・4 年次においては学生 個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。
3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を 4 年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。
4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。

〈グローバルビジネス学科〉

1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、専門分野に関する科目以外にも政治学・経済学を中心とした社会科学全般に関する幅広い学修が可能となるよう配慮する。
2. グローバル経営学、国際ビジネススキル、ビジネスデータ分析の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3 年次・4 年次においては学生個々の研究テーマに沿った主体的な学修

が可能になるよう卒業研究の指導を行う。

3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を、4 年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。
4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業研究指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。

[理工学部]

1. 「理学」「工学」に共通する理工の基礎力を育成することを目的に、全専攻共通の基礎系科目を配置するとともに、幅広い教養と視野の育成を目的に、専攻を横断、融合した科目を配置する。
2. 専門領域に関する知識、技術とともに、それらを活用し課題解決に取り組む能力を身につけることを目的に、専攻専門科目を開設するとともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を養成することを目的に、他専攻の専門科目の履修を必修科目として設定する。
3. 技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身につけることを目的に、社会人として必要な教養、外国語、情報リテラシーに関する科目を配置するとともに、グループワークなどのアクティブラーニングを通じて主体性、協調性、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。
4. 各専攻の専門的知識や技術をもとに、他者と協調して実社会で自らの社会的役割を果たす力を養成することを目的に、専攻融合による P B L 活動を展開する実践演習科目を開設するとともに、専門分野の研究を通じ、情報科学の知識、技術を社会貢献に活かすことを目的とした卒業研究を配置する。

[社会学部]

1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。
2. 「社会学」に関する基礎的な知識、及び現代社会学、メディア社会学、社会心理学の専門の学び、及び「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識、視野の導入、調査・分析の知識方法や技術、「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識を養成することを目的とする授業科目を配置する。
3. 「現代社会学」「メディア社会学」「社会心理学」の各コースの専門分野に関する知識、能力や、関連隣接する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。
4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を

配置する。

5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。
6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。

[情報学部]

1. 教育課程には、情報学に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする「共通基礎科目」を設定する。
2. 専門の学びの「専門教育科目」には、情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけることを目的とする「基盤科目」、情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野や、情報社会と情報技術への関心、意欲的に学ぼうとする姿勢を養成することを目的とする
3. 「情報・データサイエンス分野科目」「経済・経営分野科目」を設定する。
4. 「専門教育科目」には、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる能力や、情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる能力、他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる能力を養成することを目的とする「基礎・専門演習科目」「卒業研究」を設定する。

・入学者の受入れに関する方針

[教育学部]

1. 高等学校における課程の修了時点に相当する基礎的な学力を有する人。
2. 教職に強い関心があり、教員に求められる専門的知識及び技能を身に付けようとする人。
3. 学んだことを広く人と交流する中で生かそうとし、また、そこから新しいことを学ぶことができる人。
4. 教育的愛情を持ちながら子どもと接し、子どもを育成することに使命感を持っている人。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人
2. 看護学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

〈総合リハビリテーション学科〉

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人

2. リハビリテーション学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

[政治経済学部]

〈政治・政策学科〉

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。
2. 社会の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。
3. 創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。
4. 多様な意見を尊重することのできる人。

〈経済経営学科〉

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。
2. 経済の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。
3. 創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。
4. 多様な意見を尊重することのできる人。

〈グローバルビジネス学科〉

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。
2. 国際社会及び国際経済の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。
3. 創造力と開拓精神に富み、国際社会に貢献したいという意欲を持つ人。
4. 多様な意見を尊重することのできる人。

[理工学部]

1. 理工分野の高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を有する人。
2. 理工分野に対する関心と、学びへの意欲をもち、課題にねばり強く取り組む姿勢を有する人。
3. 自ら積極的に関わろうとする姿勢、創造的な発想を有し、人と協力して社会の発展に貢献する意欲のある人。
4. 幅広い視野でものごとを捉え、論理的に思考し、適切に判断することができる人。
5. 感性豊かに物事を捉え、情報をまとめて、伝えたいことを相手に的確に表現することができる人。

[社会学部]

1. 高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいくうえで必要な基礎的な学力を身につけている人。
2. 大和大学および社会学部の教育理念、教育内容を理解し、学びに対する意欲を有す

る人。

3. 現代社会の諸現象、メディアの役割や課題、社会現象と人間行動に関心を有する人。
4. 他者と協調して課題を解決し、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献しようとする意欲を有する人。

[情報学部]

1. 本学及び情報学部の教育理念、教育内容を理解し、社会の発展に貢献しようとする意欲を有する人。
2. 情報社会と情報技術に対して深い興味や関心を持ち、学びに対する意欲を有する人。
3. 高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいくうえで必要な基礎的な学力を身につけている人。

大和大学白鳳短期大学部

・卒業の認定に関する方針

[こども教育専攻]

1. 保育者としての使命感・倫理観を身につけている。
2. 公平で偏りのないものの見方を身につけている。
3. 人と連携を図るためのコミュニケーション能力を有している。
4. 高度な専門的知識を有し、状況に応じた的確な判断をすることができる。

[看護学専攻]

1. 豊かな人間性と人間愛、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っている。
2. 多様な価値観と個性に対応するグローバルな視野と思考力を有している。
3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけている。
4. 確固とした基礎学力に基づいた専門的知識・技術と論理的思考力を持っている。

[リハビリテーション学専攻]

1. 人間に対する深い思いやりを持っている。
2. 周囲や環境に対して鋭い洞察力と広い視野を持っている。
3. チームの一員としての協調性、連帯意識を持っている。
4. 専門的で高度な知識・技術を修得している。

・教育課程の編成及び実施に関する方針

[こども教育専攻]

1. 職業的使命感・倫理観を培う。
2. 公平・不偏なもの見方を身につける。
3. コミュニケーション能力を高める。
4. 保育・幼児教育に関する専門的知識と状況判断力を身につける。

[看護学専攻]

1. 人間性と奉仕の精神を高める。
2. 社会と他者に対するグローバルな視野を獲得する。
3. コミュニケーション能力とリーダーシップを高める。
4. 看護に関する高度な専門的知識と論理的思考を学ぶ。

[リハビリテーション学専攻]

1. 人間に対する理解を深め、他者への思いやりを涵養する。
2. 周囲や環境に対する鋭い洞察力と広い視野を獲得する。
3. 周囲の人間と協力しあうことができる能力と姿勢を養う。
4. リハビリテーションに関する高度な知識、技術と態度を修得する。

・入学者の受入れに関する方針

[こども教育専攻]

1. 保育・教育に興味・関心があり、学ぶ意欲と向上心を持つ学生。
2. 地域や社会の一員として、貢献しようとする意識を持つ学生。
3. 良心に従い、温かい思いやりと心を持ち、他人との円滑な交流を好んでできる学生。
4. 目標に向けて努力する学生。

[看護学専攻]

1. 人々の健康を支えるという側面から問題意識を持ち、看護の実践に取り組む高い志を持つ学生。
2. 相手を思いやり、周囲と協力していく姿勢を持つ学生。
3. 物事に対し、確かな考えや意見を持つ学生。
4. 柔軟な発想と論理的思考力の基礎となる学力を有する学生。

[リハビリテーション学専攻]

1. セラピストの仕事に魅力を感じる学生。
2. 人を思いやり、相手の立場に立って物事を考えることのできる学生。
3. 人とのコミュニケーションが好きで、仲間と協力し合うことのできる学生。
4. 自己を律することができ、根気よく努力できる学生。

西大和学園中学校・高等学校

・卒業の認定に関する方針

「わたし」×World making×leadership

1. 「これから」の社会創造を担う主人公：挑戦×省察・内省
2. 「これまで」にとらわれず気迫をもって「高み」を目指し挑戦する人材：教養×体験

3. 積極的・探究的な学びで「本物の知」を身につけ、広い世界をフィールドに越境的・創造的に活躍する人材：社会性×多様性
4. 社会から信頼される誠実さと他社を承認し共創できる人間性を備えた人材

・教育課程の編成及び実施に関する方針

1. 「これまでにない」「最高の」「先端の」モノ・ヒト・コトに接し、「より高く」「より深く」「より鋭く」「より新しく」を求め、高い熱量で挑戦しながら学ぶ。
2. 国内外のトップレベルの大学で学ぶための基礎学力の習得、受験勉強の先にある学びを「横断的」「探究的」に学び、これからの社会創造に求められる「本物の知」の獲得にむけて粘り強く努力する。
3. 学校行事や学習活動において、多様な人々、社会や世界、価値観に触れ、対話的・協働的な営みの中で、「これまで以上の」「最高の」「先端の」そして「自分らしい」モノ・コトを創り出す活動を行う。
4. 挑戦、実行、内省のサイクルをまわし、自己調整を促しながら設定した目標を達成する力を養う。

・入学者の受入れに関する方針

西大和学園が求める生徒像

1. 「社会の求める人材」になる、ではなく、社会に自分を求めさせる。
2. 「トップレベル」をめざすではなく、自分だけの「最高」を見つける。
3. 「トップレベル」のひとつ先へ。
4. 西大和学園で君だけの「最高」を一緒に追及する。

2. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

大和大学

めざす5つの重点施策

1 教育の進化

- ・多彩な分野の多くのトップリーダーによる特別講義で「大志」を育む
- ・教育経験豊かな教員による「担任制」できめ細やかな支援
- ・すべての学生が「使える英語力」を身につける
- ・すべての学生が「実践的 IT スキル」を身につける
- ・全学オープン科目、学部横断プロジェクト科目で、幅広い教養と豊かなコミュニケーション力を身につける

2 研究の進化

- ・研究実績豊かなトップレベルの研究者と共に学ぶ
- ・学部横断型研究を推進
- ・難関国公立大学大学院
- ・学会発表など学生の挑戦を後押しする環境を整備

3 学生保護者の満足度を最大限に高める

4 常に動く、時代に変化する

2025 年

- ・理工学部および情報学部の入学定員を合わせて 115 人増
- ・理工学部に「生物生命科学専攻」を開設
- ・学部横断型教養科目「全学オープン科目」を開設

2026 年

- ・政治経済学部および社会学部の入学定員を合わせて 95 人増
- ・社会学部に「社会文化学コース」を開設
- ・入試制度、内容等の入試改革を実施
- ・学生の経済支援強化として、給付型奨学金制度を拡充

2027 年

- ・理工学部に「応用化学専攻」を開設
- ・情報学部に「情報システム科学コース」、「ネットワーク・セキュリティコース」、「メディア情報コース」、「AI・データサイエンスコース」、「情報経済経営コース」を開設
- ・全学オープン科目内に異なる学部の学生がチームを編成し課題に取り組む「学部横断プロジェクト科目」を開講
- ・一人暮らし学生の支援強化として提携学生寮を整備
- ・さらなる入試改革として、一般選抜において記述式問題を拡大

2028 年

- ・新学部を開設構想中

5 進路の数値目標を明確にし達成する

・教育学部

教員採用試験合格（正規採用）	100%
高等学校教員採用試験合格（正規採用）	専攻全体の 60%以上

・保健医療学部 看護学科

国家試験合格	100%
国公立病院、大学病院、公的病院への就職	就職希望者の 90%以上

・保健医療学部 総合リハビリテーション学科

国家試験合格	100%
基幹病院、リハビリテーション病院への就職	就職希望者の 90%以上

・政治経済学部 政治・政策学科

国家公務員試験、地方公務員試験合格	学科全体の 60%以上
-------------------	-------------

・政治経済学部 経済経営学部

東証プライム上場企業、従業員 5,000 人以上の企業への就職	就職希望者の 60%以上
---------------------------------	--------------

・政治経済学部 グローバルビジネス学科

東証プライム上場企業、従業員 5,000 人以上の企業、外資系への就職、 グローバル企業へ就職	就職希望者の 60%以上
--	--------------

・理工学部

難関国公立大学大学院進学

学部全体の 60%以上

東証プライム上場企業、従業員 5,000 人以上の企業への就職 就職希望者の 60%以上

・社会学部

東証プライム上場企業、従業員 5,000 人以上の企業への就職 就職希望者の 60%以上

・情報学部

難関国公立大学大学院進学

学部全体の 60%以上

東証プライム上場企業、従業員 5,000 人以上の企業への就職 就職希望者の 60%以上

・教育学部

令和 8 年度教員採用試験現役合格者数 442 人（実数 159 人）現役合格率 89.8%

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻 の 4 つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

国家試験合格実績	看護師	100%
	助産師	100%
	保健師	95%
	理学療法士	100%
	作業療法士	100%
	言語聴覚士	100%

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバル・ビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2 年次専攻選択制）。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学科のもとに現代社会学コース、メディア社会学コース、社会心理学コースを設け、社

会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2 年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

大和大学白鳳短期大学部

・総合人間学科

建学の精神に基づき、「教育基本法及び学校教育基本法に基づき、国際的な視野に立ち、広い教養と深い専門の学術文化、及び保育、幼児児童教育、看護、理学療法、作業療法に関する専門的な学芸を研究、教授し、豊かな見識を備えた、社会の要請に応え得る人材の育成に寄与することを目的とする」と定めている。

・こども教育専攻

「実践力を備えた保育者・教育者の養成」にあることは変わらない。すなわち、「保育・教育の充実を求める社会のニーズに応え、未来の社会を支える尊い職業に携わる使命感、責任感そして愛情を持った良質な保育者・教育者の育成」を教育の目的としている。

また、そのような教育の目的を達成するために、次のような教育の目標を掲げている。

- ①保育者としての使命感・倫理観を身につける。
- ②公平で偏りのないものの見方を身につける。
- ③周囲と連携を図るためのコミュニケーション能力の獲得。
- ④高度な専門的知識と状況に応じた的確な判断力の獲得。

・看護学専攻 国家試験合格実績 99.1%（令和8年3月卒業生）

「豊かな人格と広範な視野をもって看護学の発展に寄与でき、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を持った看護師の育成」を教育の目的としている。

教育の目標を掲げている。ために以下の教育の目標を掲げている。

- ①相手を思いやり、他者を尊重する豊かな感性を育てる。
- ②多様な価値観を認めるグローバルな視野と思考力を養成する。
- ③社会貢献に必要とされるコミュニケーション能力を獲得する。
- ④最新の看護技術に対応する高度な専門知識と論理的思考力を獲得する。

・リハビリテーション学専攻

国家試験合格実績 作業療法士 100%（令和8年3月卒業生）

理学療法士 100%（令和8年3月卒業生）

言語聴覚士 79.2%（令和8年3月卒業生）

「リハビリテーションを必要とする人の側に立ち、対象者の人権・価値観を尊重しながら機能回復に必要となるリハビリテーションの知識・技術・態度を身につけたセラピストの育成」にある。

この教育の目的に即して、教育の目標を以下のように定めている。

- ①人間に対する深い愛情、思いやりの心を育てる。
- ②人に対する洞察力を養い、“気づく”ことのできる力を育てる。
- ③社会やチームの一員としての協調性とコミュニケーション能力を育てる。
- ④セラピストとしての高度な知識と技術を身につける。

・専攻科

地域看護学専攻、助産学専攻、リハビリテーション学専攻理学療法学課程、リハビリテーション学専攻作業療法学課程、リハビリテーション学専攻言語聴覚学課程の 3 専攻・3 課程を有している。専攻科の各専攻・課程も総合人間学科同様に、豊かな人間性と高度な専門的知識・技術を持った保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の養成を教育の目的としている。

西大和学園中学校高等学校

学力の伸長には人間としての成長も欠かせないと考え、授業内容を創意工夫し、イベントを充実させている。スーパー英語・数学講座、東京グローバルサイエンスセミナー、東大 Live 講義などは、受験対策のさらなる学力強化のほか知的好奇心を刺激。グローバル・イングリッシュ・キャンプなどで国際社会を体感させながら、芸術鑑賞会や心の教育講演会、富士登山や自然体験、ボランティアなど生徒一人ひとりの情操教育にも力を入れている。

・進路サポート

「主体的な学習行動には、進路観（目的意識）の育成が大切」という観点から、人生の目を持たせる教育にも取り組んでいる。仕事、学問、進学先など様々なことから、「将来やりたいこと」や「なりたい自分」を考え、夢や目標への想いをしっかりと持つことにより勉強する意味を考えさせ、学問への興味・関心を深めていく。

令和 8 年度大学合格実績

東京大学 75 人、京都大学 31 人、国公立大学医学部医学科 79 人、など国公立大学 332 人
早稲田大学 67 人、慶応義塾大学 57 人、同志社大学 76 人など。

・スーパーサイエンスハイスクール

文部科学省による「将来の国際的な科学技術人材を育成する S S H 制度」は、先進的な理数教育や最先端のテクノロジーから刺激を受ける絶好の機会を生み出している。また、民間企業の協力により、最新テクノロジーが我々の生活にどのように応用されているかを実感できる機会を獲得している。

・アクションイノベーションプログラム

世界を舞台に活躍するグローバルビジネスリーダー育成を目的とした「アクションイノベーションプログラム（AIP）」をスタート。2014 年に文部科学省指定の「スーパー グローバルハイスクール」をさらに進化させ、『気づいたこと・理解したことの唯一の証は行動することである』といったマインドマップを基に、イノベーション創発人材を育成する。海外探究プログラムやリーダー養成プログラムで国際人として素養を備えた上でリーダーとしての Design Thinking を身につけ、AI セミナー（トッ

プランナー講義)では様々な業界のトップランナーの生き様や考え方に触れ、かつて経験をしたことのない強烈な刺激を受けることができる。

Ⅲ 財務の概要

(1)決算の概要

① 貸借対照表関係

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	39,073,933	43,801,879	43,722,479	45,703,246	45,957,052
流動資産	5,676,821	3,896,929	6,844,449	7,483,597	8,875,714
資産の部合計	44,750,754	47,698,809	50,566,928	53,186,843	54,832,766
固定負債	7,706,157	6,784,662	5,850,334	3,824,671	2,102,460
流動負債	3,113,877	3,292,001	2,942,428	3,129,696	2,589,231
負債の部合計	10,820,034	10,076,663	8,792,762	6,954,367	4,691,692
基本金	35,827,460	41,649,359	43,229,027	46,858,336	49,540,183
繰越収支差額	▲ 1,896,740	▲ 4,027,213	▲ 1,454,861	▲ 625,860	600,892
純資産の部合計	33,930,720	37,622,146	41,774,166	46,232,476	50,141,075
負債及び純資産の部合計	44,750,754	47,698,809	50,566,928	53,186,843	54,832,766

②事業活動収支計算書関係

科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒納付金	7,274,688	7,997,889	9,015,004	9,464,377	9,860,155
	手数料	303,268	344,746	355,102	373,547	372,258
	寄付金	3,000	11,330	44,956	13,555	9,550
	経常費等補助金	1,014,035	960,099	1,076,919	1,831,869	1,875,307
	付随事業収入	264,295	224,493	206,912	208,985	222,748
	雑収入	271,811	250,079	326,755	355,393	287,085
	教育活動収入計	9,131,095	9,788,636	11,025,648	12,247,725	12,627,102
	事業活動支出の部					
	人件費	2,977,971	3,141,826	3,413,457	3,909,262	3,839,245
	教育研究経費	2,012,991	1,900,554	2,301,506	2,440,089	3,222,794
	管理経費	860,170	1,077,057	1,173,541	1,458,897	1,507,097
	徴収不能額等	1,530	565	6,893	6,542	3,056
	教育活動支出計	5,852,662	6,120,003	6,895,397	7,814,790	8,572,192
	教育活動収支差額	3,278,434	3,668,633	4,130,252	4,432,935	4,054,910
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	21,230	30,942	31,056	42,136	86,388
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	21,230	30,942	31,056	42,136	86,388
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	4,649	10,918	10,165	16,761	14,616
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	4,649	10,918	10,165	16,761	14,616
特別収支	教育活動外収支差額	16,581	20,024	20,891	25,376	71,772
	経常収支差額	3,295,015	3,688,657	4,151,143	4,458,311	4,126,682
	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	11,473	2,769	877	0	0
	特別収入計	11,473	2,769	877	0	0
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	0	0	0	0	0
	その他の特別支出	0	0	0	0	218,084
	特別支出計	0	0	0	0	218,084
	特別収支差額	11,473	2,769	877	0	▲ 218,084
基本金組入前当年度収支差額		3,306,488	3,691,426	4,152,020	4,458,311	3,908,598
基本金組入額合計		▲ 7,182,604	▲ 5,821,899	▲ 1,579,668	▲ 3,629,309	▲ 261,847
当年度収支差額		▲ 3,876,116	▲ 2,130,473	2,572,352	829,002	1,226,751
前年度繰入収支差額		553,485	1,896,740	▲ 4,027,213	▲ 1,454,861	▲ 625,860
基本金取崩額		1,425,891	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額		▲ 1,896,740	▲ 4,027,213	▲ 1,454,861	▲ 625,860	600,892
(参考)						
事業活動収入計		9,163,799	9,822,347	11,057,582	12,289,861	12,713,490
事業活動支出計		5,857,311	6,130,921	6,905,562	7,831,551	8,804,892

③資金収支計算書関係

収入の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒納付金収入	7,274,688	7,997,889	9,015,004	9,464,377	9,860,155
手数料収入	303,268	344,746	355,102	373,547	372,258
寄付金収入	3,000	11,330	44,956	13,555	9,550
補助金収入	1,025,508	962,868	1,077,796	1,831,869	1,875,307
資産売却収入	600,000	400,000	1,000,000	250,000	220,000
付随事業・収益事業収入	264,295	224,493	206,912	208,985	222,748
受取利息・配当金収入	21,230	30,942	31,056	42,136	86,388
雑収入	271,811	250,079	326,755	355,393	287,085
借入金等収入	8,000,000	0	0	0	0
前受金収入	1,142,425	1,432,092	1,351,818	1,307,817	1,358,450
その他の収入	3,253,150	1,795,557	1,794,833	2,599,721	2,397,232
資金収入調整勘定	▲ 1,365,431	▲ 1,249,254	▲ 1,581,156	▲ 1,516,721	▲ 1,719,234
前年度繰越支払資金	7,330,290	5,573,269	3,770,468	6,650,416	7,308,273
収入の部合計	28,124,232	17,774,011	17,393,545	21,581,094	22,278,211
収出の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	3,017,064	3,193,345	3,477,642	4,168,267	3,826,430
教育研究経費支出	1,442,309	1,321,550	1,570,663	1,689,875	2,416,678
管理経費支出	791,344	1,013,621	1,109,494	1,394,731	1,442,901
借入金等利息支出	4,649	10,918	10,165	16,761	14,616
借入金等返済支出	269,982	869,976	869,976	1,836,809	2,133,342
施設関係支出	14,741,543	4,610,499	612,747	1,391,023	334,162
設備関係支出	133,063	411,408	166,929	471,627	76,343
資産運用支出	726,784	906,353	1,161,397	1,775,873	1,032,151
その他の支出	1,575,321	2,026,995	2,052,083	2,155,127	2,692,053
資金支出調整勘定	▲ 151,096	▲ 361,122	▲ 287,968	▲ 627,271	▲ 108,757
翌年度繰越支払資金	5,573,269	3,770,468	6,650,416	7,308,273	8,418,292
支出の部合計	28,124,232	17,774,011	17,393,545	21,581,094	22,278,211

④活動区分資金収支計算書

科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	9,131,095	9,788,636	11,025,648	12,247,725	12,627,102
	教育活動資金支出計	5,250,717	5,528,516	6,157,799	7,252,872	7,686,008
	差引	3,880,378	4,260,120	4,867,850	4,994,853	4,941,094
	調整勘定等	▲ 105,590	221,165	▲ 32,851	276,034	▲ 705,611
	教育活動資金収支差額	3,774,788	4,481,284	4,834,999	5,270,886	4,235,483
施設設備等活動による資金収支						
	施設設備等活動資金収入計	11,473	2,769	877	0	0
	施設設備等活動資金支出計	14,874,606	5,021,907	779,676	1,862,650	410,505
	差引	▲ 14,863,133	▲ 5,019,138	▲ 778,799	▲ 1,862,650	▲ 410,505
	調整勘定等	▲ 109,911	192,274	▲ 193,151	14,909	▲ 13,861
	施設設備等活動資金収支差額	▲ 14,973,044	▲ 4,826,864	▲ 971,950	▲ 1,847,741	▲ 424,365
小計（教育活動資金収支差額 + 施設設備等活動資金収支差額）		▲ 11,198,256	▲ 345,579	3,863,049	3,423,145	3,811,118
その他の活動による資金収入						
	その他の活動資金収入計	10,380,557	2,127,969	2,735,849	2,733,499	2,556,618
	その他の活動資金支出計	2,365,214	3,648,328	3,718,950	5,498,822	5,257,716
	差引	8,015,343	▲ 1,520,359	▲ 983,101	▲ 2,765,323	▲ 2,701,098
	調整勘定等	0	63,137	0	34	0
	その他の活動資金収支差額	8,015,343	▲ 1,457,222	▲ 983,101	▲ 2,765,289	▲ 2,701,098
支払資金の増減（小計 + その他の活動資金収支差額）		▲ 3,182,912	▲ 1,802,801	2,879,949	657,856	11,100,120
前年度繰越支払資金		7,330,290	5,573,269	3,770,468	6,650,416	7,308,273
翌年度繰越支払資金		5,573,269	3,770,468	6,650,416	7,308,273	8,418,292

IV 学校法人の業務の適性を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

(1)関係する決議の概要

学校法人西大和学園（以下「本法人」という。）は、令和7年3月15日開催の理事会において、理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合すること並びに本法人の業務の適正を確保するための体制の整備に関し、「内部統制システム整備の基本方針」を以下のとおり決議した。

【内部統制システム整備の基本方針】

1. 経営に関する管理体制

- ① 理事会は、定時に開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、法令・寄附行為に従い、必要な事項については評議員会の意見を聴いたうえで、業務執行上の重要事項を審議・決定するとともに、理事の職務執行を監督する。
- ② 寄附行為に基づき、理事会及び評議員会の役割、権限及び体制を明確にし、適切な理事会及び評議員会の運営を行う。
- ③ 「理事職務権限規程」に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。
- ④ 職務分掌・決裁権限を明確にし、理事、職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と有効性・効率性を高める。
- ⑤ 理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為及び「文書取扱規程」に基づき、適切に作成、保存及び管理する。

2. リスク管理に関する体制

- ① リスク管理に関し、「リスク管理規程」を整備し、理事長を最高責任者とするリスク管理体制を構築するとともに、リスクの評価方法、リスク対応方法等を明確にする。
- ② 個人情報保護に関する方針及び諸規程に基づき、個人情報の保護と適切な管理を行う。
- ③ 事業活動に関するリスクについては、法令及び本法人の規程等に基づき、職務執行部署が自律的に管理することを基本とする。
- ④ リスクの統括管理については、リスク管理委員会が一元的に行うとともに、本法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについて、対策等の必要な事項を検討し、理事会に報告する。
- ⑤ 災害、事故その他の緊急時に備え、対応組織や情報連絡体制等について規程等を定めるとともに、継続的な教育と定期的な訓練を実施する。
- ⑥ 研究活動について、内部牽制機能による研究費の適正経理、研究不正の防止及び知的財産の保護を確保するため、規程等を定めるとともに、必要な措置を講じる。

3. コンプライアンスに関する管理体制

- ① 理事及び職員の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制を整備するため、「コンプライアンス規程」を定める。
- ② 本法人のすべての役職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、不正防止等に関わる役職員への教育及び啓発活動を継続して実施、周知徹底を図る。
- ③ 本法人に公益通報を行うことができる通報窓口を常設して、不正の未然防止を図るとともに、速やかな調査と是正を行う体制を推進する。通報窓口又は監事に対しコンプライアンスに関する相談又は違反に係る通報をしたことを理由に、不利益な取扱いを行わない。
- ④ 法令・寄附行為違反等の行為が発見された場合には、「コンプライアンス規程」等に従って迅速に状況を把握し、必要に応じて外部専門家と協力しながら適正に対応する。

4. 監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）

- ① 監事は、「監事監査規程」に基づき、公正不偏な態度及び独立の立場で監事監査を行う。
- ② 監事は、理事会、評議員会等の重要会議への出席並びに重要書類の閲覧、審査及び質問等を通して、理事等の職務執行についての適法性、妥当性に関する監査を行う。
- ③ 監事は、理事会が決定する内部統制システムの整備について、その決議及び決定内容の適正性について監査を行う。
- ④ 監事は、重要な書類及び情報について、その整備・保存・管理及び開示の状況など、情報保存管理体制及び情報開示体制の監査を行う。
- ⑤ 監事が職務を補助する職員（以下「補助職員」という。）を置くことを求めた場合は、独立性を有する補助職員を配置する。
- ⑥ 補助職員は、監事の指揮命令下で監事の職務を補助する業務を行い、当該業務において監事以外からの指揮命令を受けないものとする。
- ⑦ 補助職員は、監事の求めに応じ、監事に同行して、理事会、評議員会等の重要な会議及び理事長との定期的な会合に陪席することができるものとする。
- ⑧ 理事又は職員等は、本法人に著しい損害を与えるおそれのある事実又は法令、寄附行為その他の規程等に反する行為等を発見したときは、直ちに理事長及び監事に報告する。
- ⑨ 理事及び職員等は、職務執行状況等について、監事が報告を求めた場合には、速やかにこれに応じる。
- ⑩ 理事長は、定期的に監事と会合を持つなどにより、事業の遂行と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り、相互認識を深める。
- ⑪ 監事はその職務の執行について生ずる費用の前払い若しくは支出した費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合には、速やかに相当額を支払う。

5. 本方針の改廃

本方針に見直しの必要性が生じた場合は、理事会の決議により改正するものとする。

(2)体制及び運用状況の概要

① 理事の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

学校法人西大和学園寄附行為第 18 条第 2 項にもとづき、議長及び議長が指名した出席理事 2 人以上並びに出席監事が署名又は、記名押印し、理事会の日から 10 年間備えて置くよう事務所に保管している。

② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

学校法人西大和学園リスク管理規程を制定し、リスクマネジメント体制および危機対応体制を構築している。

③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

理事会の運営を適切に行うため学校法人西大和学園理事会運営規則を制定し、理事会の決議事項を決定するとともにそれ以外の学園の業務決定権限を理事長に委任することにより、学園の目標達成に向け意思決定の迅速化・適正化を行っている。

④ 職員の職務の執行が法令および寄附行為に適合することを確保するための体制

学校法人西大和学園コンプライアンス規程の定めにもとづきコンプライアンス推進体制を構築した。また、公益通報者保護 の定めにもとづき、法令等違反行為の早期発見および是正のための内部通報制度を構築している。

⑤ 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

内部統制システム整備の基本方針のとおり、監事監査の実効的な実施を確保する体制を整備している。

附属明細書

・該当なし

以上